

講師紹介 10



Name

柳瀬 芳仁

Birth.

1985.6.22

Born

大垣市

Live

大垣市

Company

柳瀬法律事務所
(大垣市)

Studies history

大垣市立西部中学校
岐阜県立大垣北高等学校
金沢大学法学部
新潟大学法科大学院

Work history

新潟青山法律事務所
(現:弁護士法人青山法律事務所)
独立して今に至る

INTERVIEW

Q

今の事業所(会社)がやっている業務内容と、自分自身のお仕事内容を教えてください。

法律事務所で弁護士として仕事をしています。裁判所で法廷に立って訴訟活動を行ったり、警察署などに捕まっている被疑者(容疑者とと言われる方のこと)に会って話をしたりするほか、会社の顧問弁護士として重要な取引に関わったり、離婚、相続、交通事故などのトラブルで悩んでいる方の話を聞いてアドバイスをしたり、学校で法律に関する授業を行うこともあります。弁護士の仕事は、お医者さんに例えて「社会生活上の医師」と言われることがあります。



Q

中学2年生の時はどのような学生でしたか？

剣道部で部活を必死にやっていました。クラスでは学級代表をやっていました。夜はテレビでニュース番組を視るのが日課でした。ゲームも大好きで、当時はニンテンドー64のゼルダの伝説とか、マリオカートに熱中していました。ちなみに、ポケモンは第1～第3世代です。



Q

進路について考え始めたのはいつ頃ですか？

中学校2年生の時です。当時はニュース番組で、よく犯罪被害者の特集をやっていて、それを見て裁判に興味を持つようになりました。最初の頃は、弁護士ではなく、検察官になりたいと思っていました。



Q

この地域ではなく、都会で働きたいとは思いませんでしたか？

東京、大阪、名古屋などの大都市で働こうと思ったことはないです。大都市は便利で何でもありますが…人混みが苦手なタイプなので。なお、大垣市に帰ってくる前は、新潟市に住んでいました。



Q

この地域の良さは何だと思えますか？

新幹線や高速道路へのアクセスがよくて、都市部ではないのにどこにでも行けるところです。あと、西濃地域の“わき水”はすごく良いです。これほど良質の水を好きなきときに好きなのでくみに行けるのは、とてもぜいたくな環境だと思います。



Q

今の仕事に就くために、何をしましたか？

中学生のときは、普通科高校に行って、法学部のある大学に進学したいと考えていました。当時は部活もゲームも真剣にやっていたので、毎日勉強だけをやっていたわけではなかったです。ただし、どれも集中して取り組んでいたため、だらだらやることはなかったです。その後、高校、大学と進学しましたが、剣道はずっと続けていました。本当に勉強だけに取り組んだのは法科大学院に進学してからです。



Q

今の仕事の大変なところと、やりがいを教えてください。

弁護士のやりがいの一つは、法律を使いこなすことで、“この人を助けたい”、“この会社を助けたい”という熱量をそのまま仕事に変換できる点にあると思います。それが結果につながり、ご依頼者から「先生に依頼してよかった。」とお声がけをいただいたとき、本当に大きな喜びを感じます。

弁護士業務の大変さの一つは、法律が日々変化する点にあります。弁護士を続ける以上、常にアンテナを張って、新しい法律のアップデートを繰り返す必要があります。その他にも新しいものをどんどん吸収しなければならない仕事なので、いつも勉強する姿勢は必要だと思います。



Q

その業界の仕事に就くためには、どうすればいいですか？

裁判官、検察官、弁護士になるためには、司法試験という国家試験に合格する必要があります。ただし、司法試験は誰でも受験できるわけではありません。司法試験を受験するためには、大学と法科大学院を卒業するか、法科大学院卒業と同等と認められるための試験(予備試験)に合格する必要があります。今、中学生であれば、まずは高校・大学進学を目指して勉強することになります。

裁判官、検察官、弁護士を目指す上で大切なのは、体力と覚悟だと思います。体力がなければ長期間の勉強や長時間の試験に耐えられませんが、覚悟がなければ夢を途中で諦めなくなってしまいます。司法試験は、一生をかけて目指すだけの価値があります。

